登用のメリットなどの講演会を開催している。

（社会教育スポーツ課）

◆市の関わる団体の運営について

問 県内で複数の自治会や地域の団体で不祥事が起こっていることが報道されている。市はどのようにかかわっているか。

答 他自治体では会計管理の不透明さから不祥事が発生していることが報じられている。本市は各種団体に対し補助金を支出した場合、実績報告や証拠書類の提出を求め、適正な執行がなされるよう審査を行っている。

しかし、各種団体は市の指導・監督権限が及ばないので、団体の責任において会計監査を実施している。会計面では、相談があった場合には、可能な範囲で相談・助言を行っている。

（地域づくり課）

◆市内産業の振興について

問 信州F・POWERプロジェクトに関し、河川支障木や、C・D材の供給をもっと図るべきだと考える。環境保全協定による放射性物質の確認は、経営形態が変わっても実施されているか。

答 入口付近に放射能測定器を設置し、全ての原木及び木質チップに対し実施している。現在、閾値を越えた例はない。

（農林課）

問 製造業では、原材料価格高騰、資金不足、人手不足に苦しんでいる。市はどのような対策を考えているか。

荒廃農地。樹木やツルが生い茂っている。

答 製造業は、複合的要因により依然厳しい状況が続いている。無利子無担保のゼロゼロ融資の返済が迫り、資金繰りは苦しいと聞いている。人材確保対策は、有料求人サイト利用時の補助、人的資本経営推進事業などによって支援を行っている。事業者の多くがコロナ融資の返済開始時期を迎える中、借換融資制度を設け実質延長を図り、資金繰りを支える。基幹産業である製造業を多面的に支援していきたい。

（産業政策課）

ソヤノウッドパーク放射線測定器

清風クラブ

質問者 平間 正治 / 中野 重則

持ち時間90分

健康長寿日本一を目指して!!

◆「健康長寿日本一」を目指して

問 今や、人生100年と言われる時代となった。

栄養状況の改善や医学の進歩などにより、本市の平均寿命は女性87・6歳、男性81・9歳となり、全国でもトップクラスとなっている。

しかし、介護に依存しないで、自立して生活できる期間である「健康寿命」は、まだまだ平均寿命には至っていない。

こうした中で、第六次塩尻市総合計画の策定に伴う「いきいき長寿計画」などの見直し案においても、健康長寿への取り組みの重要性が示されている。

従って、今まさに本市の平均寿命の長さをベースとし、更に高い目標として「健康長寿日本一」を市民共通の目標として掲げ、体系立った事業として推進すべきではないか。

健康長寿日本一を目指して

答 平均寿命と健康寿命の差がより少なくなることが、健康で自分らしい生活が出来る人が多い状態となる。

健康寿命の延伸は、第六次総合計画の最上位の目標である「市民幸福度」に寄与する重要な指標である。健康づくりや介護予防に対する各種の取り組みを地域や企業、